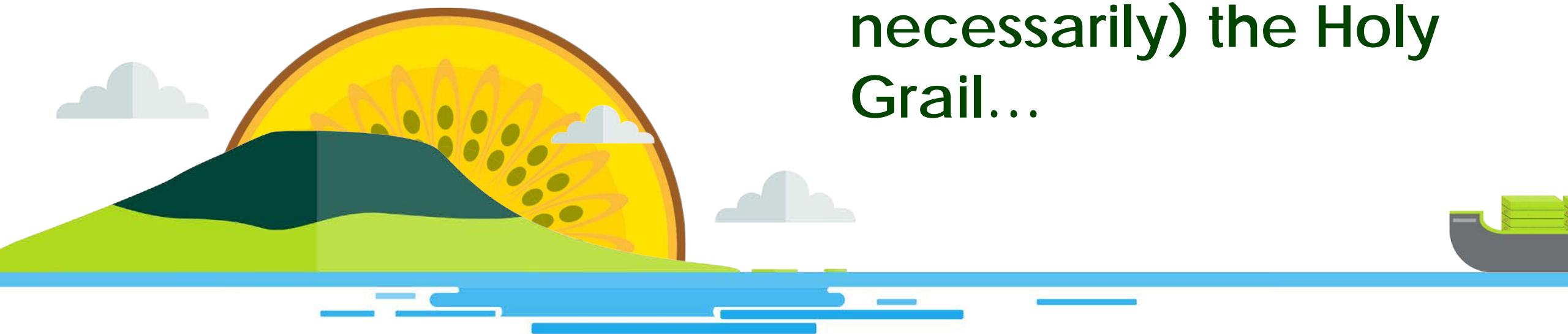




Health Claims are (not necessarily) the Holy Grail...



Dr. Juliet Ansell – Innovation Leader, Health & Nutrition

Health Claims are (not necessarily) the Holy Grail

- Who has a Health Claim?
- Zespri's Health Claim journey
- Is there a Health Claim halo effect?
- If not Health Claims then what?
- The power of *Health Communications*
- Take home messages?

Talk content



SCIENTIFIC OPINION

Scientific Opinion on the substantiation of health claims related to dried plums of 'prune' cultivars (*Prunus domestica* L.) and maintenance of normal bowel function (ID 1164) pursuant to Article 13(1) of Regulation (EC) No 1924/2006¹

EFSA Panel on Dietetic Products, Nutrition and Allergies (NDA)^{2,3}

European Food Safety Authority (EFSA), Parma, Italy

SUMMARY

Following a request from the European Commission, the Panel on Dietetic Products, Nutrition and Allergies was asked to provide a scientific opinion on a list of health claims pursuant to Article 13 of Regulation EC (No) 1924/2006. This opinion addresses the scientific substantiation of health claims in relation to "prunes" and maintenance of normal bowel function. The scientific substantiation is based on the information provided by the Member States in the consolidated list of Article 13 health claims and references that EFSA has received from Member States or directly from stakeholders.

The food that is the subject of the health claim is "prunes". The Panel considers that "prunes" in the meaning of "dried plums of 'prune' cultivars (*Prunus domestica* L.)" is sufficiently characterised.

The claimed effect is "normal bowel function/normal gastrointestinal function/normal colonic function". The target population is assumed to be the general population. In the context of the proposed wordings, the Panel assumes that the claimed effect refers to aspects of: "maintenance of bowel regularity, and laxative effect". Changes in bowel function within the normal range e.g. reduced transit time, increased frequency of bowel movements or bulk of stools might be interpreted as improvement of bowel function. The Panel considers that maintenance of normal bowel function



Who has a health claim?



Digestive Health

For starters, after six years of scientific study, independent experts at the European Commission have confirmed the wise words that have been handed down from generation to generation, that prunes which are high in fibre, are beneficial for digestive health. In fact, prunes are currently the **only natural whole and dried fruit** to achieve an **authorised health claim** in the whole of Europe asserting them as a pretty powerful player in the health and nutrition stakes. The European Commission health claim verifies that eating **100g California Prunes** (roughly 8-12) daily **contributes to normal bowel function** as part of a varied and balanced diet and healthy lifestyle.

How have they used it?



“The EFSA claim on bowel health specifically allowed us to continue to utilise that nutritional and functional issue as a marketing tool, in a very legitimate scientific way.” – Donn Zea, Executive Director, CPB

- 159 press articles (20 health articles, 30 trade publications and 109 consumer publications)
- Combined media reach of 81 million people



How have they used it?



Timeline of events -2013 to 2018



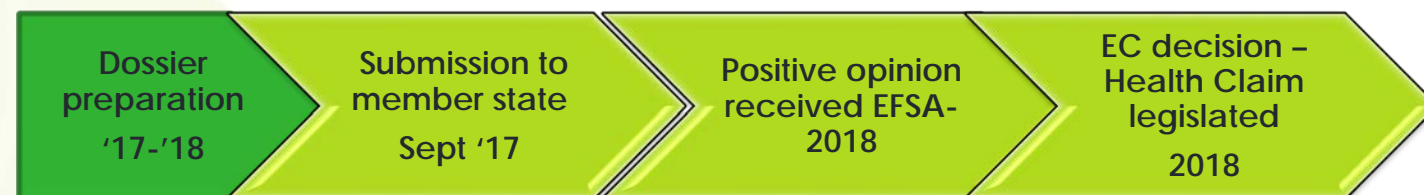
NZ



Italy



Japan

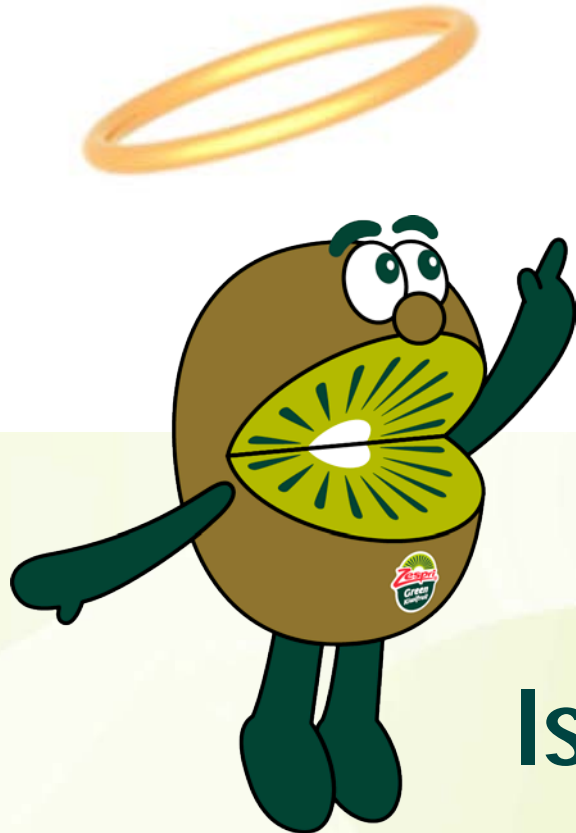


Zespri's Health Claim journey

Are there unseen benefits of a health claim?

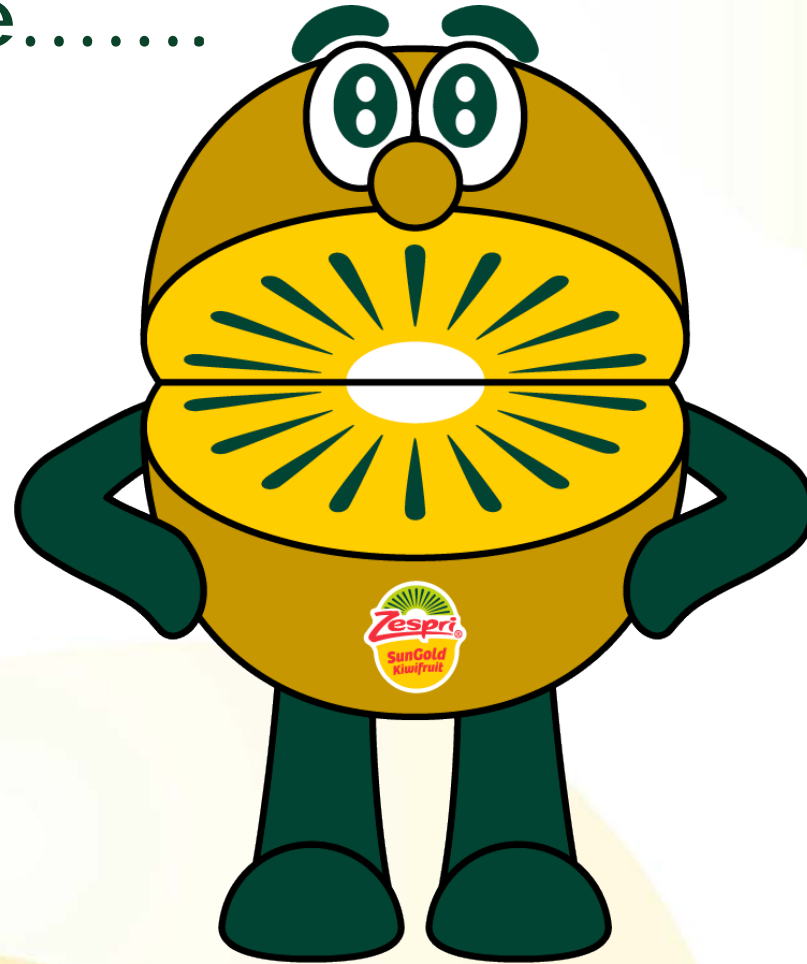
Yes:

- EFSA is seen as the gold standard in regulatory health claims that reaches beyond Europe
- Zespri are seen as a compliant, **conscientious** company exercising independent scientific rigour and **integrity**
- This reflects on our other scientific data and wider health communications



Is there a Health Claim halo effect?

In the meantime.....



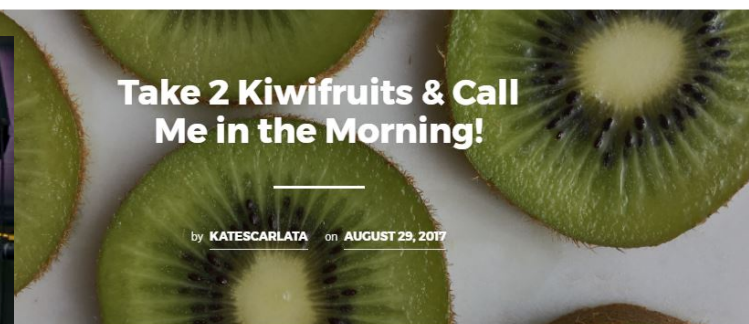
How Does Zespri leverage all that science?

How does Zespri leverage science?



FOR A DIGESTIVE PEACE OF MIND
KATE SCARLATA RDN, FODMAP & IBS EXPERT **blog**

HOME ABOUT FODMAPS BLOG RECIPES WORK WITH ME PRESS SHOP CONTACT



If not Health Claims...then what?





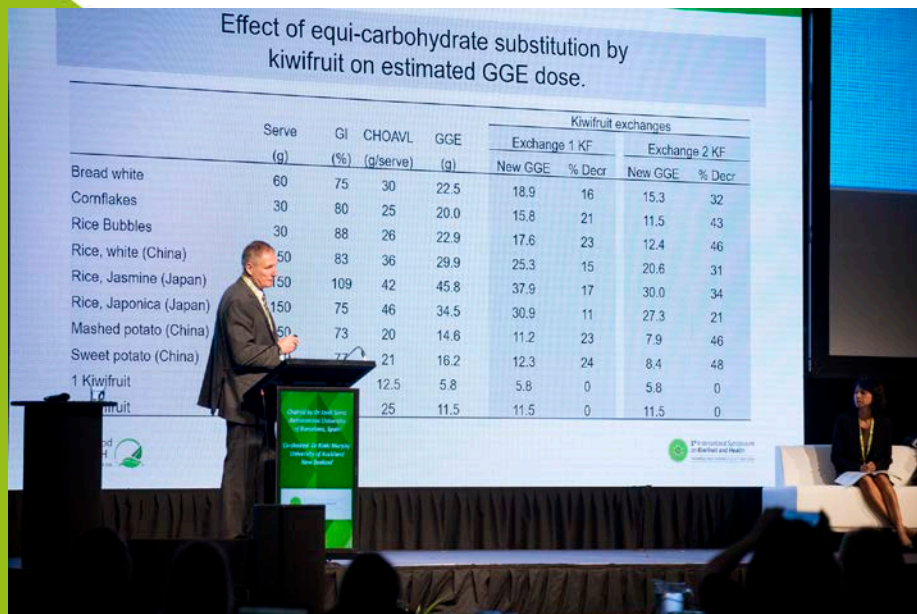
1st International Symposium on **Kiwifruit and Health**

TAURANGA, NEW ZEALAND / 12-14th April 2016

Return on investment?

- 180 global health experts attended from **16 countries**
- 25 were from the media- mainly Asia and NZ including Japanese TV crew
- During the 2 days of the symposium **70 interviews** were set up
- 452 online news publications
- Potential consumer **reach of 4.7 Billion** people
- Total value of PR of **\$50 million NZD**

Health Symposium Outcomes



Dr John Monroe

“KIWIFRUIT- A DOUBLE AGENT FOR GLYCAEMIC CONTROL”



Glycaemic control messaging



Netherlands

India

Korea

China

USA

Taiwan

South East Asia

Belgium

Japan

Global Spread since the Health Symposium

Japan

Health Magazine with commentary BY Prof Nishiyama's
on Dr. John Monro's evidence in 2016



Health

顔とボディの「たるみ」解消！
日経ヘルス
1日5分で効く
たるみ」解消！
ほうれい線 お尻 二の腕 下腹
顔とボディが
5歳若返る
1週間でうれし！結果が
下腹マイナス4cm
ヒップアップ4.6cm
ほうれい線が薄く！
あなたのたるみはAIの診断で思い通り！
•むくみたるみ→「リンパ」流しマッサージ
•顔たるみ→「正しい」顔のリリース
•筋肉たるみ→「10秒」顔引き上げ筋トレ
•脂肪たるみ→「老化しない」お肌のケア
•コラーゲンたるみ→「朝」プロテインと夜コラーゲン
•糖質たるみ→「HIT」高強度インターバルトレーニング

キウイフルーツの健康効果に関する初めての国際シンポジウムが、ニュージーランドの北部タウランガで開かれ、最新の研究成果が発表された。なかでも注目は、世界的にも関心の高い腸内細菌との関連だ。腸内細菌は、肥満や糖尿病、アレルギー性疾患など深い関わりがあるとして国内外で研究が進む。キウイフルーツの機能性に詳しく、シンポジウムに参加した駒沢女子大学健康栄養学科の西山一朗教授は「腸内モデルを使った実験だが、キウイを添加すると、酢酸やプロピオン酸、酪酸などの短鎖脂肪酸が増えた。これらが玉菌のエサとなり、腸内環境を改善すると思われる」と分析する。善玉菌のビフィズス菌、肥満の人が少ないといわれるクロイデス菌なども増加したという。

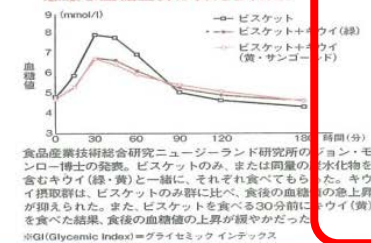
一方、キウイはダイエットにも効果がありそうだ。「キウイのGI値（食後血糖値の上がりやすさを示す指標）は、40前後で、低GI食品品目といえる」と西山教授。しかも、炭水化物の一部をキウイに置き換えた実験では、食後の血糖値の急上昇を抑えられた（西山教授）。肥満ホルモンのインスリンが過剰に分泌されずにすむというわけだ。西山教授は血糖値対策なら「炭水化物を食べる前にキウイを食べるといい」と助言する。また、お通じ改善効果についても報告が。便秘症の過半数が便群の患者（IBS-C）や便秘を訴える成人1日2個のキウイを4週間食べてもらったところ、排便回数や便の形状、腹痛の頻度などが有意に改善した。この研究は、ニュージーランドとイタリア、日本の3カ国共同で実施されており、日本でもヒト試験が始まる予定だ。

●キウイフルーツの健康効果に関する国際シンポジウムでの注目の研究

- 腸内細菌叢が改善する可能性
ビフィズス菌やバクテロイデス属など体によい働きをもたらす腸内細菌を増やす。腸内の発酵を促し、短鎖脂肪酸が増加することで、腸内環境を良好に保つ。
- 炭水化物の置き換えで食後の血糖値が抑えられた
ビスケットなど炭水化物の一部をキウイフルーツに置き換えると、食後の血糖値の上昇が緩やかになる。炭水化物を食べる前にとると血糖値の上昇を抑える効果も。
- 便秘型過敏性腸症候群（IBS-C）への有用性
ニュージーランド・オタゴ大学のリチャード・ギャリー教授が発表。1日2個のキウイ摂取でIBS-C患者の排便回数や便量などが改善。
- キウイの多糖類が便秘改善をもたらす
キウイには水溶性食物繊維のペクチン、セルロースなどの多糖類が豊富な2〜3%含まれる。ペクチンは保水して膨らみ腸管を刺激し、ぜん動運動を促す。便のかさを増す効果も。

「第1回キウイフルーツの栄養および健康効果に関する国際シンポジウム」が、2016年4月12〜14日までニュージーランドのタウランガで開かれ、16カ国185人の研究者が集まった。

●炭水化物をキウイに置き換えて急激な血糖上昇を抑えられた。

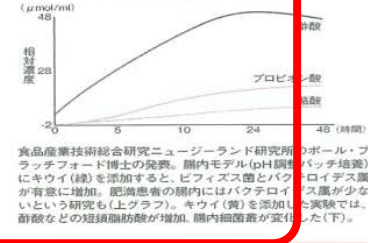


●ビフィズス菌、バクテロイデス属が増えることを腸内モデルで確認

短鎖脂肪酸は糖の吸収を穏やかにする働きがある。また、「腸内で増えた酢酸、プロピオン酸、酪酸などの短鎖脂肪酸が腸管を刺激して、便通を改善すると推測できる」（西山教授）。



●酢酸、プロピオン酸、酪酸も増えた



News

ニュージーランド・キウイフルーツ国際シンポジウム報告 1日2個のキウイで腸内の 環境が改善、ダイエットにも

甘酸っぱくてみずみずしいキウイフルーツ。便通以外にも、さまざまな健康効果があることがわかってきた。4月12〜14日にニュージーランドで初めて開かれた国際シンポジウムの模様を報告する。



西山一朗教授
駒沢女子大学
人間健康学部
健康栄養学科

Prevention of obesity by preventing a sudden rise in blood sugar level

*Introduced Dr. John Monroe's evidence

2 アンチエイジング&免疫力アップ

抗酸化作用でアンチエイジング/
ビタミンE

ビタミンCとEの両方が豊富な果物はキウイだけ!

ビタミンCの抗酸化作用は、ビタミンEと一緒にとることさらに高い効果が期待できる。キウイ以外にビタミンCとEの両方を豊富に含む食品は、ブロッコリーとパプリカのみ。調理いらずで、手軽に食べられるキウイは便利。

1個で1日の目標量をクリア!/
ビタミンC

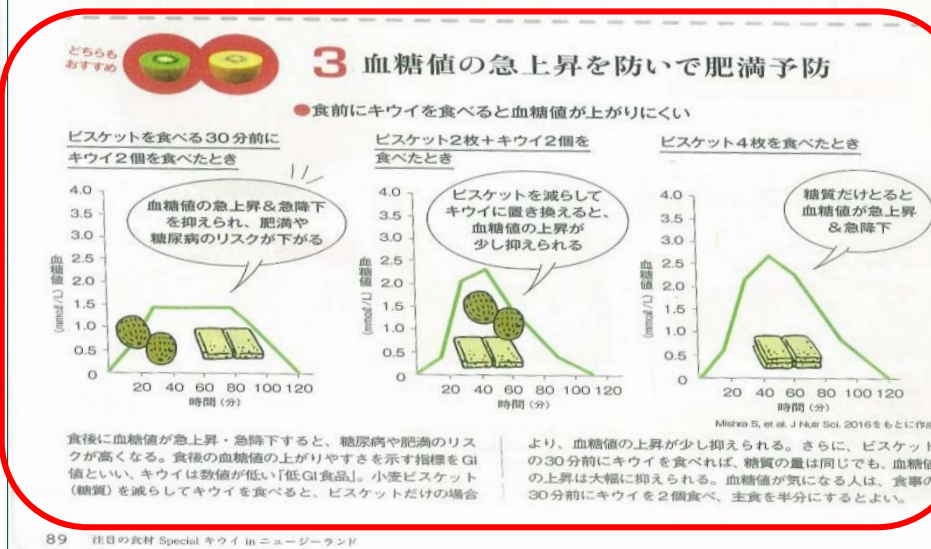
サンゴールド1個当たりレモン果汁8個分以上のビタミンC

サンゴールド1個当たりにビタミンCが161mg含まれ、1個で1日の摂取目標量100mgを満たすことができる。肌の修復力を高めたり、免疫力を向上させるビタミンCは、熱に弱い性質がある。キウイは生で食べられるため、効率よく摂取できる。

ビタミンC注目の効果

やる気がアップし、疲れにくくなる!?

ビタミンCの摂取量が不足すると、疲労感や憂うつ感を招くことがわかってきた。ニュージーランドの最新の研究ではキウイを1日2個とると、活力がアップし、疲労感が軽減したという報告もある。



おとな世代こそ食べたい キウイの3大健康効果

キウイの栄養密度は果物トップクラス。なかでも、食物繊維とビタミンCは突出しています。また、血糖値を上げにくい低GI食品としても注目されています。

セスプリ研究員に聞きました! キウイの健康効果を研究しているジュリエット・アンセルさん

1 便秘改善&胃もたれ予防

消化促進に **アクチニジン**

肉や魚などの消化を助けるキウイ

グリーンキウイに多く含まれるアクチニジンは、たんぱく質の分解を促す働きがある。肉や魚が消化されやすくなり、胃もたれの予防につながると考えられるので、食後のデザートに適している。この働きを利用して、調理前の肉を刻んだキウイと一緒に漬け込めば、肉が柔らかくなる効果も。

便秘予防に **食物繊維**

グリーンキウイ1個にバナナ約3本分の食物繊維

キウイには、便のカサを増やす不溶性食物繊維と、腸内の善玉菌のエサとなる水溶性食物繊維がバランスよく含まれる。グリーンキウイの食物繊維量は、1個100g当たり2.5g。ちなみに、バナナ100gは1.1g、りんごは100g当たり1.4gで、ほかの果物と比べても豊富なことがわかる。

●キウイの食物繊維は保水力が抜群

りんごやオレンジの食物繊維の2倍近い保水力

食物繊維1g中に保つことができる水分量を示している。



腸内で便がカチカチになるのを防いでくれる

キウイの食物繊維は保水力が高く、腸内で便が硬くなるのを防ぐ。胃の中で5倍ほどに膨張するため、満腹感が得られ、食べすぎ防止にも。

手の平サイズの果実に、驚異の栄養素充足率

キウイは皮が茶色いことから地味な印象をもたれることもありますが、果物のなかでも、突出した栄養密度を誇る優秀な食材です。基準値に対してどのくらい含まれているかを数値化したものを「栄養素充足率」といいます。キウイは1個100g当たり「食物繊維」「ビタミンC」「ビタミンE」「葉酸」など8つの栄養素を豊富に含み、栄養素充足率はグリーンキウイ(ニュージーランド産)で10.6、サンゴールドキウイで15.1です。同量のりんごは18でキウイの約6分の1、ビタミンCが豊富なことでも知られているいこでも9.3比べてみると、キウイがいかにすぐれているかがわかります。

高血圧を改善する「カリウム」や、骨粗しょう症予防に効果的な「カルシウム」などが含まれているのも、おとな世代にとってはうれしいメリットです。

Japan

Advertorial on a lunch box Catalogue for patients (750,000 copies at hospital)



キウイフルーツの栄養含有量

比較: ゼスプリ・グリーンキウイ (New Zealand FoodNet 2014 Ver.01)

ゼスプリ・グリーンキウイ

100gあたり

エネルギー(kcal)	53
たんぱく質(g)	1.2
炭水化物(g)	14.0
食物繊維(g)	3.0
ビタミンC(mg)	85
カリウム(mg)	301
銅(μg)	38
ビタミンE(mg)	0.9

グリーンキウイは
バナナ約3分の1の食物繊維!

ゼスプリ・サンゴールドキウイ

100gあたり

エネルギー(kcal)	59
たんぱく質(g)	1.0
炭水化物(g)	15.8
食物繊維(g)	1.4
ビタミンC(mg)	161
カリウム(mg)	315
銅(μg)	31
ビタミンE(mg)	1.4

サンゴールドキウイは
レモン6個以上のビタミンC

いつもの食事に「キウイフルーツ」をプラスONで栄養バランスがグンとUP!!

忙しい朝は簡単な食事で済ませず、簡単な食事でキウイを1個加えるだけで、ビタミンや食物繊維が摂れて栄養バランスが良くなります。

アンケートに答えるとプレゼント!!

2017年 8月31日(木)まで

1人あたり3.6kg(約3個)

下記記入例を参考に ご応募ください。

① 性別 ② 氏名 ③ 年齢 ④ 職業 ⑤ 電話番号 ⑥ 郵便番号 ⑦ 住所 ⑧ キウイフルーツの購入履歴 ⑨ アンケート2の回答 ⑩ アンケート3の回答

Q1. 普段どのくらいの頻度でキウイフルーツを食べていますか?
☐ 毎日 ☐ 週に2~3回 ☐ 週に1回 ☐ 1か月に1~2回 ☐ 2~3か月に1回 ☐ 半年に1回 ☐ 半年に1回未満

Q2. 本ページを読んで、キウイフルーツに興味を持った点はどれですか? (複数回答可)
☐ 食物繊維が豊富 ☐ ビタミンCが豊富 ☐ ビタミンEが豊富 ☐ 血糖上昇を抑える作用 ☐ 低GI ☐ 低カロリー ☐ 色々な栄養素が含まれている ☐ その他()

Q3. 本ページを読んで、以前と比べてキウイフルーツを食べる頻度はどう変化しましたか?
☐ 以前より食べる頻度が上がる ☐ 変わらない ☐ 以前より食べる頻度が減る

いつもの食事にキウイフルーツをプラス!

血糖コントロールとキウイフルーツのお話

知っている? 注意するのは食物だけじゃない! 食後の血糖値の異常「血糖値スパイク」

「普段は正常だが、食後の短時間だけ」血糖値が急上昇する! 現象のことを「血糖値スパイク」といいます。厄介なことに、この「血糖値スパイク」は「空腹時の血糖値」を調べる通常の糖尿病診断などではなかなか見つけられません。食後1~2時間のうちに血糖値を調べる限り、「血糖値スパイク」が起きていることに気づきにくいのです。この「血糖値スパイク」を知らずに放置すると、体内の重要な血管が傷つけられ、脳梗塞や心筋梗塞などによる突然死のリスクが高まることが、最新の研究で分かってきました。

キウイフルーツには水溶性食物繊維が含まれています。水溶性食物繊維は、食事と一緒に摂ることによって食後の血糖上昇を抑えてくれます。また、キウイフルーツは低GI*食品に分類され、血糖を上げにくい果物の1つとされています。

*GI値とは、血糖値の上がりやすさを示す指標です。「GI値」が高い食品ほど血糖値を上げやすい食品といえます。そして、GI値55以下の食品が「低GI食品」、56~69の食品が「中GI食品」、70以上の食品が「高GI食品」と分類されています。キウイフルーツの「GI値」は、グリーンキウイ(緑肉種)が30、ゴールドキウイ(黄肉種)が38*と一般的に低GIといわれる分類に属しています。

Source: S. Carmichael, 2010 and Chan, W., Wang and Yu, 2011. J. Am Diet Assoc. 111(10):1454-1458.

果物・野菜	GI値	GI値	果物・野菜	GI値	
ピーマン	15	低GI	バナナ	55	中GI
白菜・うど	10	低GI	リンゴ	55	中GI
ブロッコリー	15	低GI	オレンジ	55	中GI
キャベツ	15	低GI	グレープフルーツ	30	低GI
アスパラガス	15	低GI	キウイ	30	低GI
ピーマン	15	低GI	キウイ	30	低GI
ピーマン	15	低GI	キウイ	30	低GI

キウイフルーツの血糖上昇抑制作用が最近の研究で明らか!

食品産業技術総合研究機構ニュージーランド研究所のジョン・モンロー博士の発表では、被験者にビスケットのみ、または同量の炭水化物を含むキウイフルーツ(緑・黄)とビスケットと一緒に食べてもらい、それぞれの血糖値の上昇の状況を観察したところ、ビスケットとキウイフルーツを摂取した方々は、ビスケットのみ食べた方々に比べて、食後の血糖値の上昇が抑えられたという結果になりました。

Source: John A. Monro, 2014. (J. Am Diet Assoc. 114(10):1454-1458) (J. Am Diet Assoc. 114(10):1454-1458)

果物には果糖が含まれているため「血糖値が上がる」というイメージを持たれている方もいらっしゃいますが、キウイフルーツのように食物繊維が多い又は低GI食品は、血糖値を急上昇させるよりも食後の血糖値を下げ、よりよい血糖コントロールの手助けや便秘や肥満の予防をサポートしてくれます。是非、普段のお食事にキウイフルーツをプラスONしてみてください!

Title:
About Kiwifruits and blood glucose control

Comparison matrix to explain Kiwifruits is Low GI

Dr. John Monro's evidence

To solve misunderstanding of fruits sugar, this article explains Kiwifruits is Low GI so it helps to control blood glucose.

Japan



Echo study of Glycaemic Response in Japan with Japanese subjects modelling Dr John Monro's studies:

Principle investigator: Professor Kazuhiro Nishimura, chairman of the Tokyo Dietetic Association

N = 30 Students will monitor themselves as part of their study

The main objectives of this work are:

- media exposure
- dispel the myths around sweet tasting fruits
- show how kiwifruit can help with blood glucose control



Echo Studies

Key Messages:

- Break the myth, sweet does not equal high GI
- Kiwifruit is a low GI fruit
- Kiwifruit is high nutrient density

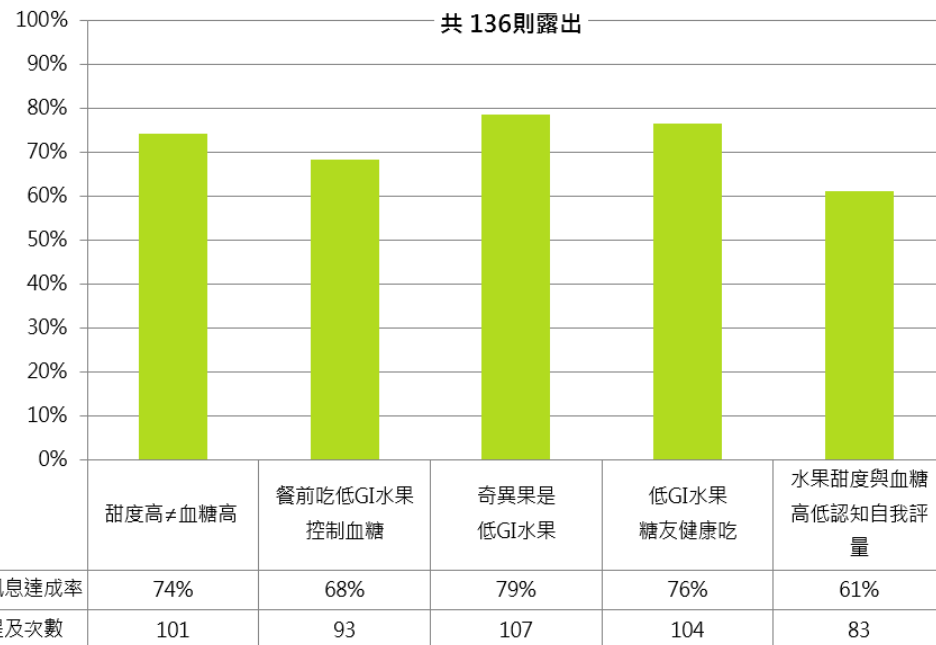


Taiwan

Media Results and \$ value

	TV	Newspaper	Online	Facebook	Total
Clippings	20	10	97	9	136
AD Value	2,637,000	\$1,681,174	\$9,700,000	\$90,000	USD 470,272
PR Value	21,583,250	\$8,058,825	\$28,800,000	\$270,000	USD 1,957,069

Exposure Clipping Period : Jun 27 2017~July 5 2017



餐前吃低GI水果 可平穩血糖

【本報記者王淑芬報導】糖尿病患者在餐前吃低GI水果，可幫助穩定血糖。專家指出，水果甜度與血糖高低認知自我評量，是糖尿病患者自我管理的重要一環。餐前吃低GI水果，可避免血糖波動，並有助於控制體重。此外，水果中的纖維素也有助於改善腸胃健康。建議患者在餐前吃低GI水果，並搭配蛋白質，以達到最佳的血糖控制效果。



Taiwan

2016 International Diabetes Foundation-Western Pacific Region & Asian Association for the Study of Diabetes in Taipei



Zespri – Lunch Seminar & Display Booth

Taiwan

Zespri lunch seminar focused on:

- Zespri kiwifruit helps reduce glycemic response, sustain satiety and avoid hypoglycaemia.
- Promoting of Dr. John Monro's findings on kiwifruit properties and glycaemic response.
- kiwifruit is low GI which good for blood sugar level management and enhance immunity, improve digestion health.



Communicating with KOLs



Taiwan

Zespri PR and communications



✓ Display Booth

- promote glycaemic response research
- Providing bilingual Zespri Scientific Pack.
- Interactive game to attract KOLs.
- Directly sampling to KOLs.



✓ Survey Questionnaires

- Reinforcing with target audience that Zespri's health communications are supported by evidence based human trials

Korea Digital communication on Dr. Monroe's research



Card news on JoongAng Ilbo Facebook Page(#of followers: 438,764)

Key Messages included:

- Zespri Kiwifruit is a low-GI fruit
- Consuming the Kiwifruit 30 minutes before a meal lowers blood glucose levels
- Introduced Dr. Monroe's study, 'A role for kiwifruit in managing blood glucose' with key visuals



Total impressions
of
12,653,838 !

Korea

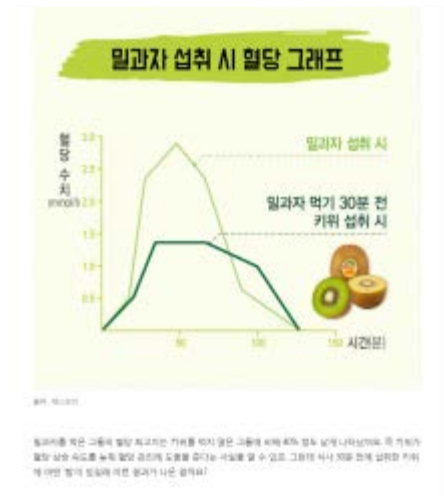
Digital communication on Dr. Monroe's research



Card news on 1boon Kakao

Key Messages included:

- Korean Dietitian Association and Zespri Korea survey - 70% of respondents said they felt less of a desire to eat sweet snacks
- Zespri Kiwifruit is a low-GI fruit
- Consuming Kiwifruit 30 minutes before a meal lowers blood glucose levels.
- Introduced Dr. Monroe's study, 'A role for kiwifruit in managing blood glucose' with key visuals



Reach of over 221,673!

Korea

Campaigns with Diabetic Association of Korea



Incheon Symposium for Pharmacists (June 11)

- Target: 1,500 pharmacists
- KOL presentation "Fruit consumption and controlling blood glucose levels"
- Providing the participating pharmacists with Kiwifruit and Scientific packs



Reached 1500
pharmacists

Korea

Campaigns with Diabetic Association of Korea



Open Lecture for Seoul Taxi Drivers (May-June)

- Targeted 40,000 taxi drivers
- Free blood glucose level check-up
- Kiwifruit to those who had blood glucose level check and explained Kiwifruit can help blood glucose management.



Reached
4000 taxi
drivers!

Korea

Campaigns with Diabetic Association of Korea



DAK at Busan International Medical Tourism Convention (September 1-2)

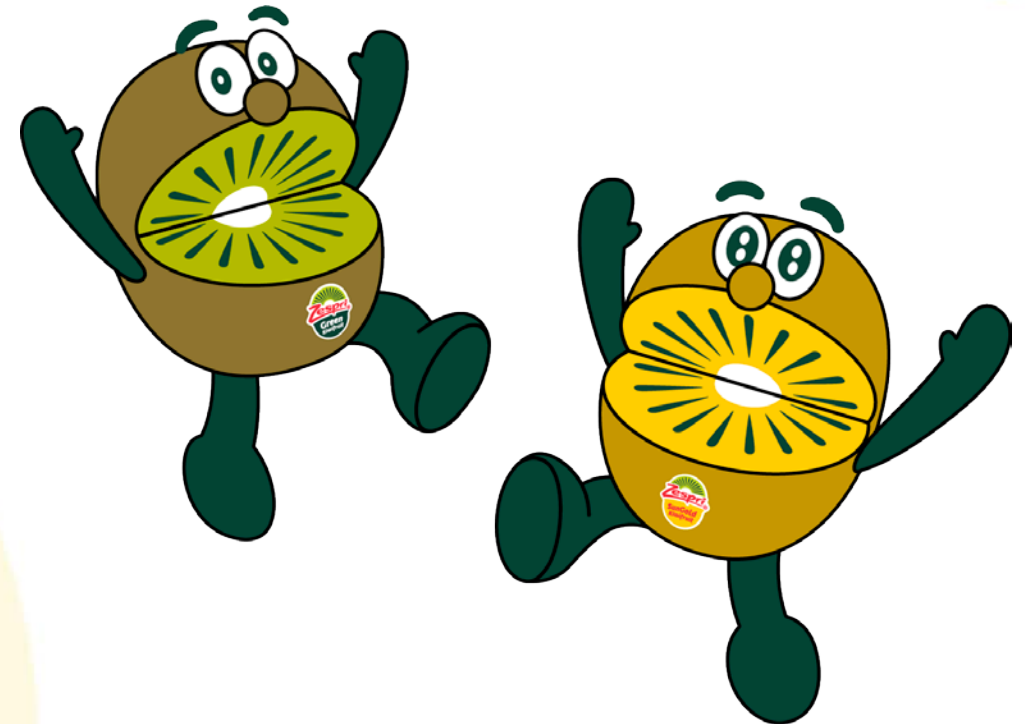
- Conducted kiwifruit sampling session at DAK's booth at Busan International Medical Tourism Convention at Busan Bexco, on September 1-2
- Blood glucose level check along with leaflets that Kiwifruit can help them manage their blood glucose level.



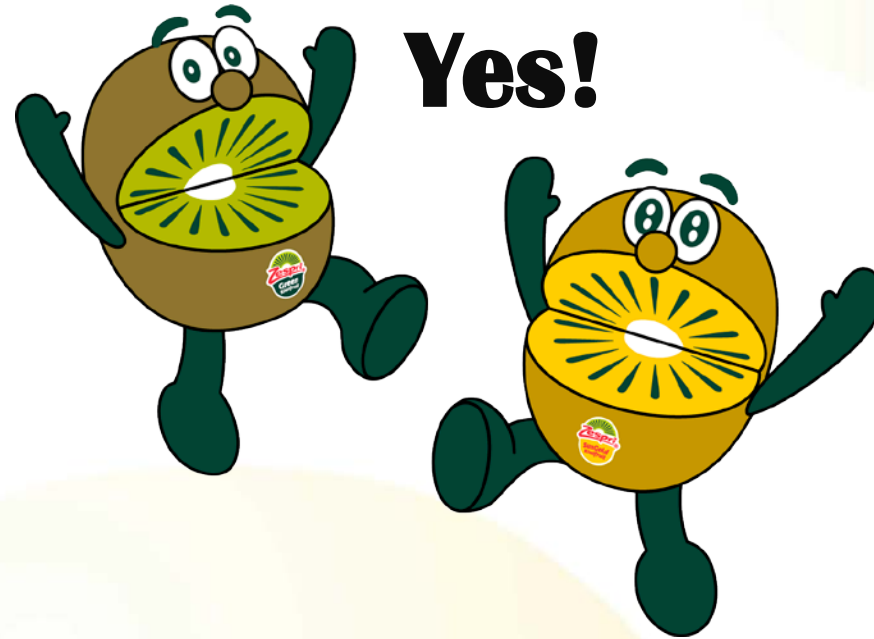
Reached
1,200 health
care
professionals!

- Obtaining a health claim sets Zespri up as a conscientious, company with integrity, solid scientific evidence and as a brand to be trusted
- This reflects on our other health communications
- Health communications have both reach and value

Take home messages?



Health Claims, are they worth it?



Yes!

But...do not underestimate the power and value
of Health Communications !

Thank You